

**問13 次の「高齢者の人権」に関することがらについて、あなたのお考えを教えてください。
(それぞれ一つに○をつけてください)**

問13は、高齢者の人権についての考え方を問うたものです。

「1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う」は、高齢者の人権としてはNOと回答される必要があります。「2 高齢者が能力を発揮できるように就労や社会活動の機会を増やすべきだ」、「3 地域の高齢者の方々と積極的に交流していきたい」、「6 高齢になっても高齢者施設であれ、住み慣れた地域であれ、生活するところを自分で選べるのが望ましい」は、高齢者の人権としてYESと回答される必要があります。「4 高齢者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う」、「5 高齢者は人生の先輩として尊敬されるのが望ましい」については、世代によって意見が分かれるかもしれません。また、「5 高齢者は人生の先輩として尊敬されるのが望ましい」は、果たして、「人権」に関わる問題なのか意見の分かれるところかもしれません。

表13-1によると、「2 高齢者が能力を発揮できるように就労や社会活動の機会を増やすべきだ」では、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」を合わせたYESが90.0%、「6 高齢になっても高齢者施設であれ、住み慣れた地域であれ、生活するところを自分で選べるのが望ましい」では、YESが95.2%と非常に高い比率になっています。「3 地域の高齢者の方々と積極的に交流していきたい」では、YESが63.9%です。しかし、「1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う」のYESが24.8%と高いことが気になります。

「4 高齢者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う」、「7 高齢者に対する公的な(経済的)保障は十分だと思う」は、YESとNOに分かれています。

表13-1の右端の数値は、各項目の平均値を求めたものです。各項目の平均値を求めるうえで、次のように点数化します。「1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う」、「7 高齢者に対する公的な(経済的)保障は十分だと思う」については、「そう思う」1、「どちらかと言えばそう思う」2、「どちらかと言えばそうは思わない」3、「そうは思わない」4とします。末尾に(逆)を付します。「2 高齢者が能力を発揮できるように就労や社会活動の機会を増やすべきだ」、「3 地域の高齢者の方々と積極的に交流していきたい」、「4 高齢者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う」、「6 高齢になっても高齢者施設であれ、住み慣れた地域であれ、生活するところを自分で選べるのが望ましい」については、「そう思う」4、「どちらかと言えばそう思う」3、「どちらかと言えばそうは思わない」2、「そうは思わない」1とします。なお、「5 高齢者は人生の先輩として尊敬されるのが望ましい」については、果たして、人権の問題なのかどうか解釈が難しく、点数化は行わないこととします。

「6 高齢になっても高齢者施設であれ、住み慣れた地域であれ、生活するところを自分で選べるのが望ましい」の平均値が最も高いことがわかります。

表 13-1

	合計	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そうは思わない	無回答	平均値
1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う・逆	1420	4.3%	20.5%	37.2%	36.8%	1.3%	3.1
2 高齢者が能力を発揮できるように就労や社会活動の機会を増やすべきだ	1420	38.7%	51.3%	6.2%	2.5%	1.4%	3.3
3 地域の高齢者の方々と積極的に交流していきたい	1420	15.8%	48.1%	27.0%	7.4%	1.6%	2.7
4 高齢者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う	1420	15.5%	39.4%	33.9%	9.0%	2.2%	2.6
5 高齢者は人生の先輩として尊敬されるのが望ましい	1420	27.0%	55.5%	12.9%	3.0%	1.6%	
6 高齢になっても高齢者施設であれ、住み慣れた地域であれ、生活するところを自分で選べるのが望ましい	1420	54.6%	40.6%	2.8%	0.6%	1.3%	3.5
7 高齢者に対する公的な(経済的)保障は十分だと思う・逆	1420	8.5%	31.7%	40.9%	16.9%	2.0%	2.7

性別と高齢者の人権についての考え方との関連をみたところ、「1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う」、「3 地域の高齢者の方々と積極的に交流していきたい」の2項目のみ統計的に有意な関連が見られました。

表 13-2-1

		合計	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そうは思わ ない	統計的 検定
1 高齢者への虐待は、 高齢者の方にも原因が あると思う	男性	624	5.6%	24.0%	37.0%	33.3%	p=.008**
	女性	752	3.5%	18.5%	38.2%	39.9%	
	性別未選択者	12	0.0%	8.3%	25.0%	66.7%	
	合計	1388	4.4%	20.9%	37.5%	37.2%	
3 地域の高齢者の方々と積極的に交流し ていきたい	男性	623	15.1%	43.8%	31.8%	9.3%	p=.004**
	女性	748	17.2%	52.7%	23.9%	6.1%	
	性別未選択者	12	8.3%	58.3%	25.0%	8.3%	
	合計	1383	16.2%	48.7%	27.5%	7.6%	

表 13-2-2 は、表 13-2-1 で統計的な有意差が認められた項目について平均値を求めたものです。

表 13-2-2

F1 性別	1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う	3 地域の高齢者の方々と積極的に交流していきたい
男性	3.0	2.7
女性	3.1	2.8
性別未選択者	3.6	2.7
合計	3.1	2.7

「1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う・逆」では、男性と女性よりも性別未選択者の平均値が高くなっています。「3 地域の高齢者の方々と積極的に交流していきたい」では、女性が、男性と性別未選択者よりも、幾分、平均値が高くなっています。

これら 2 項目の回答結果からは、性別によって高齢者の人権を尊重する考えが異なるのか判断することはできません。

表 13-3-1 は、年齢と高齢者の人権についての考え方との関連をみたものです。「6 高齢になっても高齢者施設であれ、住み慣れた地域であれ、生活するところを自分で選べるのが望ましい」以外の 6 項目において年齢との関連が見られます。

表 13-3-2 は、関連の見られる 6 項目から「5 高齢者は人生の先輩として尊敬されるのが望ましい」を除いた 5 項目について平均値を求めたものです。

表 13-3-1

		合計	そう思う	思う	どちらかと言えばそう	どちらかと思わない	言えばそう	どちらかと思わない	統計的検定
1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う	10 歳代	126	2.4%	7.9%	38.1%	51.6%	p<.001***		
	20 歳代	175	2.3%	18.3%	36.0%	43.4%			
	30 歳代	178	6.2%	19.1%	39.3%	35.4%			
	40 歳代	193	4.7%	14.5%	43.0%	37.8%			
	50 歳代	217	4.1%	23.0%	39.6%	33.2%			
	60 歳代	263	4.2%	19.0%	36.1%	40.7%			
	70 歳代以上	229	6.1%	36.2%	32.8%	24.9%			
	合計	1381	4.4%	20.8%	37.7%	37.1%			
2 高齢者が能力を発揮できるように就労や社会活動の機会を増やすべきだ	10 歳代	126	38.1%	47.6%	9.5%	4.8%	p=.032*		
	20 歳代	174	37.4%	49.4%	9.8%	3.4%			
	30 歳代	178	38.2%	50.0%	9.6%	2.2%			
	40 歳代	195	40.0%	51.8%	6.7%	1.5%			
	50 歳代	217	35.5%	60.4%	1.8%	2.3%			
	60 歳代	262	45.4%	49.2%	3.8%	1.5%			
	70 歳代以上	227	39.2%	52.0%	6.2%	2.6%			
	合計	1379	39.4%	51.8%	6.3%	2.5%			

表 13-3-1 つづき

		合計	そう思う	思う	どちらかと言えばそう	どちらかと思わない	ない	そうは思わない	統計的検定
3 地域の高齢者の方々と積極的に交流していきたい	10歳代	126	27.8%	41.3%	23.8%	7.1%			p<.001***
	20歳代	175	12.0%	41.7%	33.1%	13.1%			
	30歳代	178	10.1%	40.4%	39.9%	9.6%			
	40歳代	195	14.4%	46.2%	29.7%	9.7%			
	50歳代	217	10.6%	54.4%	28.6%	6.5%			
	60歳代	260	16.5%	55.8%	23.8%	3.8%			
	70歳代以上	225	24.4%	53.8%	16.9%	4.9%			
	合計	1376	16.2%	48.8%	27.5%	7.5%			
4 高齢者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う	10歳代	126	16.7%	41.3%	34.1%	7.9%			p<.001***
	20歳代	173	13.9%	41.0%	30.6%	14.5%			
	30歳代	176	10.8%	29.5%	45.5%	14.2%			
	40歳代	191	13.6%	32.5%	44.5%	9.4%			
	50歳代	215	17.2%	47.0%	29.3%	6.5%			
	60歳代	261	19.2%	40.6%	32.6%	7.7%			
	70歳代以上	228	18.9%	46.9%	27.6%	6.6%			
	合計	1370	16.1%	40.2%	34.5%	9.3%			
5 高齢者は人生の先輩として尊敬されるのが望ましい	10歳代	125	24.8%	54.4%	16.0%	4.8%			p=.019*
	20歳代	175	24.0%	52.6%	20.6%	2.9%			
	30歳代	177	22.0%	59.3%	14.1%	4.5%			
	40歳代	194	31.4%	53.1%	14.4%	1.0%			
	50歳代	217	30.9%	60.8%	5.5%	2.8%			
	60歳代	262	29.4%	56.9%	11.5%	2.3%			
	70歳代以上	226	26.5%	56.6%	12.8%	4.0%			
	合計	1376	27.4%	56.5%	13.1%	3.1%			
6 高齢になっても高齢者施設であれ、住み慣れた地域であれ、生活するところを自分で選べることが望ましい	10歳代	126	62.7%	32.5%	4.0%	0.8%			p=.574
	20歳代	174	56.3%	40.2%	3.4%	0.0%			
	30歳代	177	51.4%	45.8%	1.7%	1.1%			
	40歳代	195	51.8%	44.6%	3.6%	0.0%			
	50歳代	216	50.5%	45.4%	2.8%	1.4%			
	60歳代	263	57.0%	39.5%	3.0%	0.4%			
	70歳代以上	230	57.8%	39.1%	2.2%	0.9%			
	合計	1381	55.1%	41.3%	2.9%	0.7%			
7 高齢者に対する公的な(経済的)保障は不十分だと思う	10歳代	125	13.6%	44.8%	32.0%	9.6%			p<.001***
	20歳代	173	16.2%	41.0%	31.2%	11.6%			
	30歳代	174	13.8%	37.4%	38.5%	10.3%			
	40歳代	194	9.8%	28.9%	44.8%	16.5%			
	50歳代	216	5.1%	31.5%	41.2%	22.2%			
	60歳代	261	3.4%	25.7%	47.9%	23.0%			
	70歳代以上	228	5.7%	25.0%	49.1%	20.2%			
	合計	1371	8.8%	32.1%	41.9%	17.2%			

表 13-3-2

F2 年齢	1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う	2 高齢者が能力を発揮できるように就労や社会活動の機会を増やすべきだ	3 地域の高齢者の方々と積極的に交流していきたい	4 高齢者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う	5 高齢者は人生の先輩として尊敬されるのが望ましい	7 高齢者に対する公的な(経済的)保障は十分だと思う
10 歳代	3.4	3.2	2.9	2.7	3.0	2.4
20 歳代	3.2	3.2	2.5	2.5	3.0	2.4
30 歳代	3.0	3.2	2.5	2.4	3.0	2.5
40 歳代	3.1	3.3	2.7	2.5	3.2	2.7
50 歳代	3.0	3.3	2.7	2.8	3.2	2.8
60 歳代	3.1	3.4	2.9	2.7	3.1	2.9
70 歳代以上	2.8	3.3	3.0	2.8	3.1	2.8
合計	3.1	3.3	2.7	2.6	3.1	2.7

表 13-3-1 と表 13-3-2 より、次のような解釈が可能です。

「1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う・逆」については、10 歳代、20 歳代で平均値が高くなっています。「2 高齢者が能力を発揮できるように就労や社会活動の機会を増やすべきだ」、「7 高齢者に対する公的な(経済的)保障は十分だと思う・逆」では、年齢の低い世代で平均値が低くなっています。「3 地域の高齢者の方々と積極的に交流していきたい」、「4 高齢者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う」では、10 歳代を除いて、年齢が下がるほど平均値が低くなる傾向が見られます。

これらの結果から、年齢と高齢者の人権に関する意識との間に関連があるとは言えてもどのような関連なのかという点については結論づけることはできません。高齢者の人権に関する意識を測定する項目の妥当性についても検討が必要です。

表 13-4-1 は、職種と高齢者の人権についての考え方との関連をみたものです。

「2 高齢者が能力を発揮できるように就労や社会活動の機会を増やすべきだ」、「4 高齢者に対する法的支援・医療支援は不十分だと思う」以外の 5 項目において、職種との関連が見られます。

表 13-4-2 は、表 13-4-1 において統計的有意差の認められた 5 項目から、「5 高齢者は人生の先輩として尊敬されるのが望ましい」を除いた 4 項目について平均値を求めたものです。

表 13-4-1

		合計	そう思う そう思う	思う 言えばそう どちらかと	どちらかと 言えばそう 思わない	そうは 思わ ない	統計的 検定
1 高齢者への虐待は、 高齢者の方にも原因が あると思う	自営業	72	11.1%	19.4%	33.3%	36.1%	p=.001**
	自由業	14	14.3%	42.9%	21.4%	21.4%	
	公務員・教員	60	1.7%	13.3%	38.3%	46.7%	
	経営者・役員	34	2.9%	17.6%	47.1%	32.4%	
	正規職員	321	5.3%	22.1%	40.2%	32.4%	
	非正規職員	283	3.5%	20.5%	40.3%	35.7%	
	学生	165	2.4%	12.1%	33.9%	51.5%	
	無職	419	4.3%	24.1%	36.3%	35.3%	
	合計	1368	4.5%	20.8%	37.8%	37.0%	
2 高齢者が能力を 発揮できるように就労や 社会活動の機会を増や すべきだ	自営業	72	30.6%	56.9%	8.3%	4.2%	p=.270
	自由業	14	50.0%	35.7%	14.3%	0.0%	
	公務員・教員	60	40.0%	56.7%	0.0%	3.3%	
	経営者・役員	35	40.0%	51.4%	8.6%	0.0%	
	正規職員	321	39.9%	52.3%	5.9%	1.9%	
	非正規職員	285	41.8%	53.0%	3.9%	1.4%	
	学生	165	40.0%	46.1%	9.1%	4.8%	
	無職	414	38.4%	52.2%	7.2%	2.2%	
	合計	1366	39.5%	51.9%	6.3%	2.3%	
3 地域の高齢者の 方々と積極的に交流し ていきたい	自営業	72	15.3%	45.8%	33.3%	5.6%	p=.002**
	自由業	14	14.3%	42.9%	35.7%	7.1%	
	公務員・教員	60	13.3%	51.7%	25.0%	10.0%	
	経営者・役員	35	28.6%	40.0%	22.9%	8.6%	
	正規職員	320	10.6%	45.3%	35.0%	9.1%	
	非正規職員	284	14.8%	51.1%	28.5%	5.6%	
	学生	165	23.6%	41.2%	24.8%	10.3%	
	無職	412	18.4%	54.1%	21.6%	5.8%	
	合計	1362	16.3%	48.8%	27.5%	7.3%	
4 高齢者に対する法的 支援・医療支援は不十 分だと思う	自営業	72	12.5%	38.9%	40.3%	8.3%	p=.531
	自由業	13	7.7%	30.8%	38.5%	23.1%	
	公務員・教員	60	15.0%	35.0%	41.7%	8.3%	
	経営者・役員	34	14.7%	41.2%	32.4%	11.8%	
	正規職員	318	14.5%	36.8%	37.4%	11.3%	
	非正規職員	283	18.7%	38.9%	33.9%	8.5%	
	学生	165	15.8%	38.8%	36.4%	9.1%	
	無職	413	16.7%	46.0%	29.8%	7.5%	
	合計	1358	16.1%	40.4%	34.5%	9.1%	
5 高齢者は人生の先 輩として尊敬されるの が望ましい	自営業	71	21.1%	63.4%	11.3%	4.2%	p=.003**
	自由業	14	7.1%	42.9%	42.9%	7.1%	
	公務員・教員	60	40.0%	56.7%	3.3%	0.0%	
	経営者・役員	35	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	
	正規職員	320	27.5%	57.2%	13.4%	1.9%	
	非正規職員	284	29.6%	57.0%	11.3%	2.1%	
	学生	164	26.2%	53.7%	14.6%	5.5%	
	無職	417	25.4%	55.6%	15.3%	3.6%	
	合計	1365	27.5%	56.5%	13.1%	2.9%	

表 13-4-1 つづき

		合計	そう思う	思う	どちらかと言えはそう	どちらかと思わない	そうは思わない	統計的検定
6 高齢になっても高齢者施設であれ、住み慣れた地域であれ、生活するところを自分で選べることが望ましい	自営業	72	45.8%	47.2%	5.6%	1.4%		p=.014*
	自由業	14	42.9%	35.7%	21.4%	0.0%		
	公務員・教員	60	60.0%	36.7%	1.7%	1.7%		
	経営者・役員	35	51.4%	45.7%	2.9%	0.0%		
	正規職員	320	52.2%	45.3%	2.2%	0.3%		
	非正規職員	284	52.1%	43.7%	3.9%	0.4%		
	学生	165	64.8%	32.1%	2.4%	0.6%		
	無職	418	57.7%	40.0%	1.9%	0.5%		
合計	1368	55.3%	41.4%	2.9%	0.5%			
7 高齢者に対する公的な(経済的)保障は十分だと思う	自営業	72	8.3%	23.6%	54.2%	13.9%		p<.001***
	自由業	13	7.7%	46.2%	38.5%	7.7%		
	公務員・教員	60	11.7%	30.0%	40.0%	18.3%		
	経営者・役員	35	0.0%	28.6%	51.4%	20.0%		
	正規職員	320	11.6%	35.0%	38.8%	14.7%		
	非正規職員	283	5.7%	29.3%	46.3%	18.7%		
	学生	164	17.1%	45.7%	26.2%	11.0%		
	無職	413	6.1%	27.8%	45.0%	21.1%		
合計	1360	8.8%	32.1%	41.9%	17.2%			

表 13-4-2

F3 職業	1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う・逆	3 地域の高齢者の方々と積極的に交流していきたい	6 高齢になっても高齢者施設であれ、住み慣れた地域であれ、生活するところを自分で選べることが望ましい	7 高齢者に対する公的な(経済的)保障は十分だと思う・逆
自営業	2.9	2.7	3.4	2.7
自由業	2.5	2.6	3.2	2.5
公務員・教員	3.3	2.7	3.6	2.7
経営者・役員	3.1	2.9	3.5	2.9
正規職員	3.0	2.6	3.5	2.6
非正規職員	3.1	2.8	3.5	2.8
学生	3.4	2.8	3.6	2.3
無職	3.0	2.9	3.6	2.8
合計	3.1	2.7	3.5	2.7

表 13-4-1 と表 13-4-2 より、以下のような解釈が可能です。

「1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う・逆」では、公務員・教員、学生の平均値が高い一方、自由業の平均値が低くなっています。「3 地域の高齢者の方々と積極的に交流していきたい」では、経営者・役員、無職において、他の職種よりも平均値が高くなっています。「6 高齢になっても高齢者施設であれ、住み慣れた地域であれ、生活するところを自分で選べることが望ましい」では、自由業が他の職種よりも平均値が低い傾向にあ

ります。そして、「7 高齢者に対する公的な（経済的）保障は十分だと思う・逆」では、学生において他の職種よりも平均値が低いことがわかります。

職種と「高齢者の人権」に関して明確な傾向を読み取ることはできません。

地区と高齢者の人権についての考え方との関連を検討したところ、表 13-5-1 のとおり「1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う・逆」の 1 項目のみ関連が認められました。

表 13-5-2 は、平均値を求めたものです。

表 13-5-1

		合計	そう思う	思えばそう	どちらかと思わない	どちらかと思わない	統計的検定
1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う	三田地区	156	8.3%	19.9%	38.5%	33.3%	p=.027*
	三輪地区	175	4.0%	21.7%	33.7%	40.6%	
	広野地区	56	3.6%	26.8%	42.9%	26.8%	
	小野地区	27	0.0%	29.6%	29.6%	40.7%	
	高平地区	35	0.0%	28.6%	40.0%	31.4%	
	藍地区	25	8.0%	40.0%	20.0%	32.0%	
	本庄地区	23	4.3%	34.8%	26.1%	34.8%	
	フラワータウン地区	272	3.3%	20.6%	39.7%	36.4%	
	ウッディタウン地区	439	3.2%	17.3%	39.0%	40.5%	
	カルチャータウン地区	48	14.6%	22.9%	29.2%	33.3%	
	つつじが丘地区	89	4.5%	20.2%	41.6%	33.7%	
合計	1345	4.4%	20.9%	37.6%	37.1%		

表 13-5-2

F4 地区	1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う・逆
三田地区	3.0
三輪地区	3.1
広野地区	2.9
小野地区	3.1
高平地区	3.0
藍地区	2.8
本庄地区	2.9
フラワータウン地区	3.1
ウッディタウン地区	3.2
カルチャータウン地区	2.8
つつじが丘地区	3.0
合計	3.1

表 13-5-1 と表 13-5-2 より、「1 高齢者への虐待は、高齢者の方にも原因があると思う・逆」は、藍地区とカルチャータウン地区の平均値が低いことがわかります。

ただし、この結果のみで、地区と高齢者の人権に関する意識との関連について結論づけることはできません。